

J R 東海労申第 3 4 号
2 0 1 7 年 4 月 2 8 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 柘植 康英 殿

J R 東海労働組合
中央執行委員長 小林 光昭

東京交番検査車両所の「自衛隊への体験入隊」に関する申し入れ

東京交番検査車両所において、2017年5月17日から19日までの2泊3日で「自衛隊への体験入隊」を行うということが明らかになった。

自衛隊は国家・国民の財産や人命を守ることを目的とした組織である。一方 J R 東海は、安全とサービスを提供して収益を得ている民間会社である。自衛隊とは目的、成り立ち、考え方も全く異なる組織あり、自衛隊が職場訪問や規律・規範について学ぶ対象とはなりえない。

職場では、「いつか自分も行かされる」「強制的に参加させられる」と不安の意見が出されている。不安を持って日常の業務に就くことは、安全面からも非常に問題である。従って下記の通り申し入れるので早急に協議の場を設定し誠意ある回答をすること。

1. 今回の「自衛隊への体験入隊」目的を明らかにすること。
2. 今回の「自衛隊への体験入隊」はどのような内容で行われるのか明らかにすること。
3. 今回の「自衛隊への体験入隊」の主催はどこなのか明らかにすること。
4. 今回の「自衛隊への体験入隊」の人選はどのような基準で誰が決めたのか明らかにすること。
5. 今回の「自衛隊への体験入隊」にかかる費用は誰が負担するのか明らかにすること。
6. これまで他の職場も含めて、この「自衛隊への体験入隊」が実施されたこ

とがあるのか、あるとすればその詳細について明らかにすること。

7. 「自衛隊への体験入隊」への参加者はどのような勤務の扱いになるのか明らかにすること。
8. 「自衛隊への体験入隊」で負傷した場合、会社はどのように対応するのか明らかにすること。
9. 今回の東京交番検査車両所による「自衛隊への体験入隊」は、心身共大変危険な行為である。体力的なことはもちろんのこと、自衛隊に見られる絶対服従の物言えぬ上下関係は安全の妨げとなる。まして職場で働く他の社員に不安を与えることは、安全最優先のJR東海にとって何の利益もないことは明らかである。従って今回の東京交番検査車両所における「自衛隊への体験入隊」は直ちに中止すること。

以 上